

## 「大 Санктペテルブルグ圏貿易投資セミナー」のご案内

2021年10月19日

日露貿易投資促進機構事務局(ロシアNIS貿易会)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ロシアNIS貿易会では、11月11日(木)、下記の要領で「大 Санктペテルブルグ圏貿易投資セミナー」を開催いたします。

今回は、ロシア第2の都市である Санктペテルブルグ市と同市に隣接する レニングラード州が合同で貿易投資セミナーを開催します。

今回、 Санктペテルブルグ市及び レニングラード州側からは、日本企業と今後協力を期待する分野として①港湾・ロジスティクス、②グリーン・脱炭素、③都市環境・医療インフラといったテーマで報告を行うことで合意しており、企業からの報告もこのテーマに沿った形で行われる予定です。また、同地域への日本企業の進出事例として日本たばこ産業(JT)よりご報告をいただきます。

本イベントへ参加ご希望の方は、別紙1「プログラム」をご参照のうえ、**11月10日(水)12:00までに参加登録フォーム**からお申込みください。

敬具

### 記

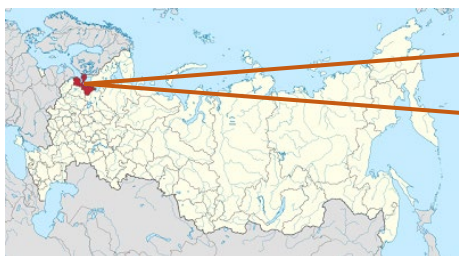
- ◆日時: 2021年11月11日(木) 日本時間16:00~18:00 (モスクワ時間10:00~12:00)
- ◆形式: オンライン開催  
※Zoomのサービスを利用(ブラウザ上で参加できるため、ソフトのインストールは不要です)。  
※配信リンクに関しては、後日、お申込みをいただいた方にお知らせします。
- ◆参加申込: [https://www.jp-ru.org/entry/?post\\_id=7895](https://www.jp-ru.org/entry/?post_id=7895) (こちらからお申し込みください。)
- ◆主催: 一般社団法人ロシアNIS貿易会、日露貿易投資促進機構、 Санктペテルブルグ市政府、レニングラード州政府
- ◆協力: 在日ロシア連邦通商代表部
- ◆プログラム: 別紙参照 / ◆言語: 日ロ同時通訳 / ◆参加費: 無料
- ◆専用サイト: <https://www.jp-ru.org/news/events/p007895/>
- ◆連絡先: (一社)ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 担当: 大内、橋之爪  
TEL: 03-3551-6218 Email: [webmaster@rotobo.or.jp](mailto:webmaster@rotobo.or.jp)

### Санктペテルブルグ市とレニングラード州

Санктペテルブルグ市(人口538万人)はロシア第2の都市で、レニングラード州(人口189万人)は同市を取り囲むように配置している。

Санктペテルブルグ市は Санктペテルブルグ港、レニングラード州は近代的大型港湾であるウスチルガ港を擁しており、物流・ロジスティクス面から非常に重要な地域となっている(ウスチルガ港は輸出貨物、 Санктペテルブルグ港は輸入貨物を主として取り扱っている)。日本からの輸出貨物の相当部分も Санктペテルブルグ港経由でロシアに入っている。

Санктペテルブルグ市にはトヨタ、日産、日本たばこ、トヨタ紡織、カルソニックカンセイといった日本企業が生産拠点を有している。レニングラード州には、日本企業の進出はないが、ノキアン・タイヤ(フィンランド)やフィリップモリスが工場を構える(かつてはフォードも)。



## 大サントペテルブルグ圏貿易投資セミナー プログラム

◆日 時： 2021年11月11日(木) 日本時間16:00～18:00 (モスクワ時間 10:00～12:00)

◆専用サイト：<https://www.jp-ru.org/news/events/p007895/>

◆参加登録フォーム：[https://www.jp-ru.org/entry/?post\\_id=7895](https://www.jp-ru.org/entry/?post_id=7895)

\*2021年10月19日時点

日本時間 (モスクワ時間)	プログラム
<b>【第1部】 挨拶</b>	
16:00-16:05 (10:00-10:05)	◆開会・議事説明 中居 孝文 (一社)ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 副所長
16:05-16:10 (10:05-10:10)	◆在サントペテルブルグ日本国総領事による挨拶 飯島 泰雅 在サントペテルブルグ日本国総領事
16:10-16:15 (10:10-10:15)	◆在日ロシア連邦通商代表部による挨拶 ピョートル・パヴレンコ 在日ロシア連邦通商代表部主席代表
16:15-16:20 (10:15-10:20)	◆サントペテルブルグ市政府代表による挨拶 ロマン・ゴロヴァノフ サントペテルブルグ市投資委員会議長
16:20-16:25 (10:20-10:25)	◆レニングラード州政府代表による挨拶 ドミトリー・ヤロフ レニングラード州副首相兼経済発展・投資活動委員会議長
<b>【第2部】 大サントペテルブルグ圏の貿易投資ポテンシャル</b>	
16:25-16:40 (10:25-10:40)	◆サントペテルブルグ市の貿易投資ポテンシャル アンナ・イワコヴァ サントペテルブルグ市国家予算組織「投資管理局」局長 ドミトリー・プロジェクトン サントペテルブルグ市産業政策・イノベーション・商業委員会 議長
16:40-16:55 (10:40-10:55)	◆レニングラード州の貿易投資ポテンシャル アナスタシヤ・ミハリチェンコ レニングラード州経済発展エージェンシー総裁
<b>【第3部】 大サントペテルブルグ圏の企業のポテンシャル</b>	
16:55-17:05 (10:55-11:05)	◆サントペテルブルグ市への日本企業の進出事例:日本たばこ産業株式会社 隈元 隆宏 日本たばこ産業 たばこ事業本部 渉外企画室 国際担当部長
17:05-17:15 (11:05-11:15)	◆サントペテルブルグ市の企業(1): アヴァ・ペテル社(スカンジナビア・クリニック) オリガ・コムイシェヴァ アヴァ・ペテル社 営業プロジェクト発展部長
17:15-17:25 (11:15-11:25)	◆サントペテルブルグ市の企業(2):スペツトランス・アフトパーク No.1 社 ドミトリー・ウテフスキー スペツトランス・アフトパーク No.1 社 副社長
17:25-17:35 (11:25-11:35)	◆レニングラード州の企業(1):ノヴォトランス・アクチフ社 ヴァチェスラフ・ペトレンコ ノヴォトランス・アクチフ 副社長
17:35-17:45 (11:35-11:45)	◆レニングラード州の企業(2):VES スヴィリツァ社 イーゴリ・ブルイズグノフ VES スヴィリツァ 社長
17:45-17:55 (11:45-11:55)	◆質疑応答
17:55-18:00 (11:55-12:00)	◆閉会の挨拶 中居 孝文 (一社)ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 副所長
18:00 (12:00)	◆閉会

## セミナー登壇予定の Санктペテルブルグ市及びレニングラード州の企業の概要

企業名	概要
 <p>СКАНДИНОВИЯ АВА-ПЕТЕР клиника выключательной медицины</p> <p>アヴァ・ペテル</p>	<p>有限会社アヴァ・ペテルは、 Санктペテルブルグ市を中心に複数の民間病院を経営している。1996年、 Санктペテルブルグ市に最初の病院を開設、2008年に市内に第2病院、2010年にはヴォログダ市、2012年にはカザン市（タタルスタン共和国）に総合病院をオープン。その他、 Санктペテルブルグ市に10以上の分院をもつ。小児科、診療科、産科、口腔外科、外科、美容外科、デイサービス等を有するが、特に産科における不妊治療で大きな業績をあげている（当院の治療で2万人以上の新生児が誕生）。日本とは医療センターの新設に関わる協力を希望。</p> <p>URL: <a href="https://avapeter.com/">https://avapeter.com/</a> （英語）</p>
 <p>СПЕКТРАН 1</p> <p>スペットランス・アフトパルクNo. 1</p>	<p>株式会社スペットランス・アフトパルクNo. 1は、1936年設立の北西連邦管区最大の廃棄物処理業者。ゴミの自動分別設備やリサイクル装置、最新の最終処分場を有し、 Санктペテルブルグ市内においてゴミの収集、搬送、分別、加工、リサイクル、埋立処理に従事している。毎年、 Санктペテルブルグ市の一般廃棄物の43～45%に当たる430万㎡のゴミを収集・搬送している。日本とは①一般廃棄物処理に関わるプロジェクト、②廃棄物から抽出する固形燃料の生産プロジェクト、③高度の分別や廃プラスチックなど廃材の加工処理プロジェクトでの協力を希望。</p> <p>URL: <a href="http://spest1.ru/">http://spest1.ru/</a> （露語）</p>
 <p>НОВОТРАНС</p> <p>ノヴォトランス・アクチフ</p>	<p>ノヴォトランス・アクチフは輸送大手ノヴォトランスの子会社で、バルト海フィンランド湾に面するウスチルガ港の汎用ターミナル「ルガポート」建設プロジェクトを担当している事業会社。建設投資額は465億ルーブル（約740億円）。ターミナル「ルガポート」は2022年12月に一部操業を開始し、2024年3月に完工予定。完工後の貨物の取扱能力は年間2426万トンとなり、主としてバルクカーゴ（カリ肥料、各種鉱石、石炭等）、穀物、圧延鋼材等が取り扱われる。「ルガポート」はバース長1465m、岸壁水深17.5mのターミナルで、新パナマックス級、ベニーケーブサイズの船舶が接岸可能になる。</p> <p>URL: <a href="https://novotrans.com/en/main/">https://novotrans.com/en/main/</a> （ノヴォトランス・グループのHP） URL: <a href="https://www.lugaport.com/">https://www.lugaport.com/</a> （ルガポートプロジェクトのHP）</p>
 <p>VESスヴィリツァ</p>	<p>有限会社VESスヴィリツァ（スヴィリツァ風力発電所）は、レニングラード州ヴェルホフ地区スヴィリツァ集落（ Санктペテルブルグから北東のラドガ湖沿岸）に設備容量68.4MWの風力発電所を建設するプロジェクトを担当する事業会社。2023～2024年の完工を目指している。本プロジェクトの発注者は国営送配電会社ロッセチ。生産された電力は工業向けに利用される見込み。</p>

